

授業科目

地域福祉実践演習

担当教員名 渡邊 敏文、青木 茂	対象学年	1・2	対象学科	社会福祉学
	開講時期	前期・後期	必修・選択	選択
	単位数	4	時間数	60

授業の概要

地域社会の生活課題、福祉ニーズを踏まえて、地域社会における福祉機関・組織の役割について説明できる。地域福祉援助の理論・アプローチを踏まえて、院生自身の実践の省察、評価、実践の改善課題等について説明できる。コミュニティ・ソーシャルワーク、地域包括ケアシステムの仕組みや方法論、地域包括支援センター等における支援内容を理解し、地域社会における地域援助が行える。地域福祉実践に関する理論、計画、実践方法、評価について理解する。

授業の目的

地域福祉に関する理論・実践及び、高齢者支援に関する各種基礎理論を学び、地域における社会福祉の実際の場面で活用できるようにする。

学習目標

地域社会の調査内容について企画する。地域社会への介入の方法について把握する。ソーシャルプランニング、ソーシャルアクションを把握する。高齢者支援の理論・アプローチの成り立ち・機関を理解する。理論・アプローチに基づく高齢者と家族への支援の展開について把握する。理論・アプローチに基づく支援の実際を理解する。地域包括支援センターの役割と実際の活動、支援についての事例研究を行う。地域福祉実践の具体的な事例について、分析その他の事例研究を行う。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	ソーシャルワークの実践理論・モデルと実務を結び付け、理論・モデルに基づく対象把握、実践をを行えるようにする。(1)	講義と発表と討論による。	渡邊 敏文
2	同上(2)	講義と発表と討論による。	渡邊 敏文
3	同上(3)	講義と発表と討論による。	渡邊 敏文
4	同上(4)	講義と発表と討論による。	渡邊 敏文
5	同上(5)		渡邊 敏文
6	同上(6)		渡邊 敏文
7	同上(7)		渡邊 敏文
8	同上の課題に関するまとめ		渡邊 敏文
9	地域包括ケアの仕組みや方法論を理解するとともに、地域包括支援センター等における支援内容の理解や支援方法について学習する。(1)		渡邊 敏文
10	同上(2)		渡邊 敏文
11	同上(3)		渡邊 敏文
12	同上(4)		渡邊 敏文
13	同上(5)		渡邊 敏文
14	同上(6)		渡邊 敏文
15	同上の課題に関するまとめ(7)		渡邊 敏文
16	インフォーマル活動を含む社会資源の実態、福祉計画等について把握し、地域社会における生活課題や福祉ニーズを把握する。(1)		青木 茂
17	同上(2)		青木 茂

18	同上（3）		青木 茂
19	同上（4）		青木 茂
20	同上（5）		青木 茂
21	同上（6）		青木 茂
22	同上（7）		青木 茂
23	同上の課題に関するまとめ（8）		青木 茂
24	各種・各地の地域福祉実践について分析、考察、理論化を試みる。（1）		青木 茂
25	同上（2）		青木 茂
26	同上（3）		青木 茂
27	同上（4）		青木 茂
28	同上（5）		青木 茂
29	同上（6）		青木 茂
30	同上の課題に関するまとめ（7）		青木 茂

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書						
その他の資料	必要に応じて文献や資料を担当教員から提示する。					

評価方法

課題に関する発表の内容や討議への参加状況に基づいて評価する。

履修上の留意点

積極的に発表及び討議への参加を行うことが求められる。

この科目は、認定社会福祉士の認定単位の対象となる共通専門科目である「地域開発・政策系科目I」、「ソーシャルワーク理論系科目I」また高齢分野専門科目である「地域包括ケア・地域包括ケアセンター」の各1単位、合計3単位を含むことが認定社会福祉士認証・認定機構から認められた科目である。

オフィスアワー・連絡先

渡邊 敏文 オフィスアワー：月曜日13:10～19:00 研究室：E棟E302 Eメールアドレス：toshi-w@nuhw.ac.jp
 青木 茂 オフィスアワー：月曜日13:10～19:00 研究室：E棟E317 Eメールアドレス：shigeru-aoki@nuhw.ac.jp